



りえぞん

No.33 2012.3

発行/
奈良芸術短期大学
〒634-0063
奈良県橿原市久米町222
TEL 0744-27-0625
<http://www.naragei.ac.jp>

CONTENTS	
1	あなたに Click!!
2	Topics
3	Prize
	Gallery 第44回卒業制作展、専攻科修了制作展
4	第44回卒業制作展、専攻科修了制作展
	卒業生 メッセージ
	Topics

あなたに Click!!

藤原 春美さん

— 専攻科デザインコース 2回生 —

コンセプトや企画をしっかり立てる。そしてワクワクするモノをつくりたい。



専攻科は自分で充実させる

美術系の高校ではなくて普通科高校でした。進学しようと思ったきっかけは、教育実習に来られた美術の先生の影響です。デザイン分野の学問があるんだということ、それに子供のころから絵を描くのが好きだったということもあって進学を美術系にしようと考えました。いろんな大学のオープンキャンパスに参加したのですが、奈良芸は少人数制で基礎からしっかり学べるということで入学しました。

美術科2年間は密度の濃いカリキュラムであつたという間でした。それで、もっと作品をつくりたいと思いつが強くなって専攻科に進みました。

専攻科は美術科よりさらに少人数制です。マンツーマン指導なので自分次第で知識や技術をどんどん吸収できるし、表現の幅を広げることが

できます。他の美大に行っている高校時代の友人より多くのことを学んでいると実感できました。奈良芸の充実した毎日を過ごせて大満足です。

『子供が楽しくアルファベットを覚える』がコンセプト

デザインは対象者にメッセージを効果的に伝える手段だと思います。ただ好きにつくっていればいいのじゃなくて、相手の気持ちを考え、コンセプトや企画意図をしっかり持たないとダメですよね。私は子供が好きなのでターゲットを子供にして、積み木の知育玩具をつくりました。コンセプトは『アルファベットを楽しく覚える』です。学んだタイポグラフィの知識を生かし、ワクワクしたモノをつくりたいと企画しましたが、普段扱うことのない“木”で積み木をつくることに苦労しました。谷口先生、新海先生、クラフトデザインコースのウッドの先生にアドバイスを受け、最終のカタチになるまで何度も試作を重ねました。



Topics

■子どもたちと共に成長する美術館に

— 秋元雄史氏(金沢21世紀美術館館長)が特別講座

2月23日、金沢21世紀美術館館長の秋元雄史氏を招いて『現代美術から今の社会を考える』というタイトルで、語っていただきました。

金沢21世紀美術館といえば、さまざまな現代アートの作品が見られる美術館です。秋元氏は、1992年から2004年までベネッセアートサイト直島にてチーフキュレーターを、2004年から2006年まで地中美術館館長、そして2007年より金沢21世紀美術館の館長をされています。まずは金沢21世紀美術館の特色を説明、次に現代アートをどうやって拡げたのか、多くの人々に共感をあたえるためにどう工夫したのかプロセスなど実例を使って紹介していただきました。

学生たちは「つくり手として今は作品をつくることで精いっぱいだと思う。しかし、鑑賞者のことを考えて作品の中の世界をみせる工夫をして欲しい。作品を通して、観る人とコミュニケーションをとることが大事だ」とアドバイスされました。今後も、社会の中で美術を活性化するための装置としての美術館を目指していきたいと話されました。



Prize

第56回関西新世紀展

入選 安井正太さん(洋画研究生)

ル・サロン展2011(フランス芸術家協会主催の世界最古の国際公募展)

銅賞 叶本昌之さん(洋画05卒)

第45回女流陶芸展

入選 渡邊幸子さん(陶芸2回生)

第18回松伯美術館花鳥画展

入選 菊地将宗さん(日本画98卒)

ル・サロン展2011
銅賞 叶本昌之さん
『二度と戻らない流れ過ぎ去る時』



第18回松伯美術館花鳥画展
入選 菊地将宗さん
「秋遊ぶ」

Gallery

■専攻科展 — 日本画コース

2011年11/28~12/2

聖心会館ギャラリー



■専攻科展 — 洋画コース

2011年12/4~11

MUむう東心齋橋画廊



■日本画掛軸展 — 日本画コース

2012年1/24~1/26

聖心会館ギャラリー



Topics

■産学連携 製薬会社の販促グッズ — デザインコース

産学連携ですすめている家庭用置き薬メーカー『三光丸』の販促グッズコンテストの表彰式が2011年12月に行われました。

1位は杉本英恵さん(2回生)のポスター、2位は富島仁美さん(2回生)のポスター、特別賞に岡本亜希さん(専攻科1回生)の販促グッズが選ばれました。昨年7月にプレゼンした作品を県内公共施設などで展示、一般の方々に投票してもらった結果です。表彰式は三光丸本社のお茶室で行われ、表彰式後には抹茶もいただきました。

ビジネスの現場ではデザインは無くではなくモノになっています。

今回の取り組みは学生にとって社会に出るために大きな原動力になったことでしょう。



第44回卒業制作展、専攻科修了制作展 受賞者

(50音順)

		洋画コース	日本画コース	デザインコース	陶芸コース	染織コース	クラフトデザインコース
美術科	優秀賞	木戸明日香	松本 千弘	太田 梨子 (メディアデザイン) 福田 結以 (イラストレーション)	荒木 織賀	浅野 泰大	中村 明子
	佳作賞	兜金奈緒美 吉成 真美	宮下 真穂	中野志桜里 (コミュニケーションデザイン) 西浦 紀子 (コミュニケーションデザイン) 青井 崇 (メディアデザイン) 浦久保温子 (メディアデザイン) 富島 仁美 (イラストレーション) 堀見日紗子 (イラストレーション) 松井 祐佳 (イラストレーション)	福富 智恵 山本 光		黒松 美里 齋藤 未来 西田 瑞代 米谷 愛子
専攻科	美術賞	大江 智巳	白川奈央子	藤原 春美	宮本 瞳	高木日那子	坂本よし子
	佳作賞	小椋 喜公	篠原ゆう子 花本 鈴子	金山 春菜	音在 歩美		磯部 玲香 小西 陽子

第44回卒業制作展、専攻科修了制作展

2012年2月17日～20日

キャンパスがまるごとミュージアムになる4日間。2年間または4年間で学んだ感性と表現の集大成を展示了しました。



卒業生メッセージ

うらのかろくさん

- 日本画コース 1987年卒 -

海外で出版やアニメ化も! 手づくりにこだわり、「カワイイ」を追求しています。



この仕事の魅力・やりがい

夫と一緒に人形劇絵本の工房「かろくこうぼう」を営んでいて、絵本や人形をつくっています。絵本といえば通常は絵やイラストなんですが、私たちはストーリーを考え絵コンテを描いたあと、各場面を木工の立体作品にします。完成したらフォトスタジオに持ち込み、セッティング。カメラマンさんに撮影していくだけ、絵本に仕上げます。

こうした造形の場合、「小物は既製品を使う」というのが多いのですが、私たちはすべて『手づくり』。既製品が入ると世界観が崩れるんです。だから妥協したくありません。でも手を抜かずに気持ちを込めてつくると、子どもたちにも伝わるんですね。「小物がカワイイ」「サブキャラが好き」といった読者の声もたくさんあって作家冥利につきます。

今 の仕事との出会い・きっかけ

童話集『めいさくのたからばこ』は1万冊で成功

といわれるなか8万冊のヒット。台湾や韓国でも出版されています。オリジナルストーリーの『コケッコさん』は日韓共同でアニメ化されたほか、ヨーロッパでも出版予定です。

奈良芸卒業後、父の会社で事務をする合間に人形をつくっていた頃からすると驚くことばかりです。人形制作が仕事になったのは個展を開催したとき。出版社のライターさんが雑誌の挿絵の仕事を紹介してくださったんです。その後本格的に職人さんに木工を教えてもらい、今の作風を確立しました。30才の頃に大阪から上京、ほとんどの出版社をまわる「売り込み作戦」を決行したおかげで仕事が増えていきました。テレビの子ども番組の美術や雑誌、教科書の挿絵、表紙なども手がけています。

私の学生時代!

フリー手帳で真円を描くのはプロでも至難の業。でも私は上手く描けるんです。その理由が最近になって「日本画コースでみっちり練習したからだ」と気づきました。授業で鍛えられたワザがしみついていたんですね。人形の絵付



けでとても役立っています。奈良芸の授業では「大和臨地研究」も印象に残っています。奈良の史跡を巡るんですが、写真ではなく本物を見るって大事ですよね。仏像ガールの私にとって奈良は「発想の宝庫」でした。

学生たちへ

自分の作品の売り込みを皆心配していると思いますが、目標を持つたらこわがらないことです。引っ込み思案しないで「あたってください」の精神で売り込む。出版社の編集の方って皆やさしいですよ。今自分のところでは使えないと思っても他の編集者さんを紹介してくれたりします。資料を預けたら、何年か後に仕事がきたことも(笑)。

人とのつながり、出会いをいっぱいいくつしていくことが大切だと思います。

(大阪出身)



Topics

■イオンモール橿原×ワールド「フラクサス」との産学連携『クリスマスツリー展』、日本画コース生の合作が2位に

企画は6月から始まり、7月の第一次審査で11点の中に選ばれ約3か月かけて制作しました。展示は大型ショッピングモールのイオンモール橿原で10月下旬からクリスマスまで行われ、人気投票の結果、日本画コース2回生たちの作品「ゆめみる絵本ツリー」が第2位に選ばれました。制作したのは祇園すみれさん、郡安花奈さん、高瀬瑠香さん、中沢鮎子さん、松本千弘さん、宮下真穂さん、芳野智恵さん、吉村千晶さんです。



■無印良品イオンモール橿原店のイベント『MUJI Xmasマイ“ギフト”バッグ展』

無印良品イオンモール橿原店のクリスマスイベント、マイギフトバッグデザインコンテストでデザインコース1回生の松上望さんが最優秀賞を受賞しました。他にクラフトデザインコースの飯田直樹さん、磯辺玲香さん、西孝宏さん、デザインコースの久保愛美さん、熊谷岬さんが出品しました。



お詫びと訂正

前号32号におきまして記載に誤りがありました。ここに訂正いたしますとともにお詫び申し上げます。

P4<卒業生メッセージ 真鍋享子さん>

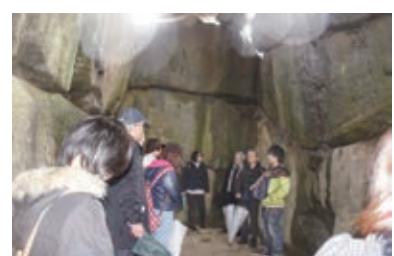
(正)第27回上野の森美術館大賞展絵画大賞「疑」

訃報

ご冥福をお祈り致します。
壺井進二 氏
2012年1月11日逝去されました。
(1980年~2001年 副学長)

■一般教養「明日香学」現地講座

1月21日、一般教養・明日香学の現地講座を行いました。考古学の聖地といわれる明日香(飛鳥)は、日本国家の出発点です。冷たい雨の中、早春の明日香を歩きました。最近発掘され齐明天皇陵といわれる率午子塚古墳や壁画で有名な高松塚で説明を受けたあと、鬼の雪隠、鬼のまな板、亀石、舞台と明日香の不思議な石造物を前園教授の解説を聞きながら巡りました。



編・集・後・記

あれから1年経ったこの1年で私たちが気づいたことは、「絆」の大切さを噛み締めたこと、原子力は安全だと頼り過ぎたこと、人生は予期しない出来事でいきなり終わりを迎えること、文明が進化し便利さを享受し過ぎたこと、一瞬で人生が一変すること、ブータン国王夫妻に「本当の幸せって何?」と考えさせられたこと…などなど。生き方を問いつぶやいた人は多かっただろう。うまくは生きられないけど、つましい明るい未来を信じて懸命に生きていこうと思う。(Y)